

どこが軽減？ 政府・与党の「軽減税率」 食料品8%据え置きでも 負担増 年4万円超

自民・公明両与党が決めている食料品の「軽減税率」。しかし、実際は来年4月に消費税率10%に引き上げる際、一部の品目を8%に据え置きだけ。大増税には変わりありません。「現行税率を引き下げるならともかく、一部8%に据え置くのは『軽減』とはいえない」「消費税が低減されるというのは錯覚」など怒りの声がうず巻いています。



め」といいますが、この間、年金、医療、介護などすべての分野で予算削減を強行し、一方で大企業には巨額の減税、軍事費は5兆円超の見通しです。消費増税そのものに道理がなく、10%増税は中止すべきです。

**消費税10%増税中止
請願は不採択**

11月議会に消費税をなくす文京の会が提出した「10%中止を求める」請願は、未来・自民・公明が不採択（共産・市民採択）とし、区民の声に背を向けました。



巻石通り安心の道路へ

今年度策定のバリアフリー基本構想をふまえ、来年度巻石通りのバリアフリー整備に向けた調査・設計を行い、17年度には工事に着手します。安全に、安心して通れる巻石通りに向けて踏み出します。地域の声が反映できるようにしていきます。

いたくら美千代活動日誌

10月

- 1日 地域日刊紙配達、議運、区議会女性議連でUNWomen日本事務所長と懇談、本会議、決算委員会打ち合わせ
- 2日 決算特別委員会始まる（板倉が総括質問）
- 3日 金富・小日台小・障害者運動会、秋田書店跡地問題
- 4日 地蔵通り朝市宣伝、生活相談2件
- 5、6、8、9日 決算委員会
- 5日 音羽老健説明会
- 7日 各課長から聞き取り
- 8日 安保法制反対集会
- 10日 小日向・後楽幼稚園・水道保育園運動会
- 12日 春日2丁目国有地説明会
- 13日 バザー実行委員会
- 14日 決算委員会
- 15日 駕籠町育成室、大塚4丁目空地視察、新大塚公園協議会
- 16日 議員団会議
- 17日 共産党マンション問題学習会
- 18日 消防団合同点検、後援会役員会
- 20日 本会議、講談社前で宣伝
- 21日 議会広報小委員会
- 22、23日 厚生委員会視察（湯沢町、新潟市、長岡市）①
- 24～26日 家族で旅行②
- 28日 区長に予算要望書提出
- 29日 茗荷谷駅宣伝
- 31日 小石川福祉作業所まつりであいさつ



11月

- 1日 本郷交流館跡地説明会、小竹都議と訪問
- 2日 航空機羽田発着問題で国交省から聞



バザーへのご協力感謝します

11月22日の第18回バザーには多くの皆様のご来場、また、品物のご提供や準備・当日の販売等ご協力いただき感謝申し上げます。売り上げの一部は実行委員会会で相談の上、被災地等への支援に使わせていただく予定です。



- き取り③
- 4日 音羽地域訪問
- 5日 スポセンプール問題で懇談、夫の親戚通夜
- 6日 告別式、避難訓練打ち合わせ
- 7日 関口台町小90周年、小日向三井マンション説明会
- 8日 西江戸川町会バスハイク（大洗）
- 9日 バザー準備
- 10日 議員団会議、奥長会「アベノミクス」勉強会
- 11日 地域党会議
- 12日 議員団会議
- 13日 衆院会館で厚労省、国交省交渉
- 14日 福祉センターまつり、バザー値段付け、新婦人班会
- 15日 福せて映画「ちづる」鑑賞、後援会役員会
- 16日 バザー準備、通夜（伝通院）
- 17日 協議会
- 18日 議会準備
- 19日 講談社前宣伝、厚生委員会正副打ち合わせ、茗荷谷駅前宣伝
- 20日 11月議会始まる
- 21日 バザー準備
- 22日 第18回バザー④
- 23日 兄夫婦と横須賀へ
- 24日 議員団会議、本会議
- 25日 本会議、女性への暴力撤廃国際デーでアピール⑤ 江戸川橋宣伝、区道整備説明会
- 26日 議員団会議、本会議



- 28日 ほんわか祭りであいさつ、文京後援会総会、通夜（落合斎場）
- 29日 ファミリーバレー開会式
- 30日 子ども・子育て委員会、議員団会議
- 12月
- 1日 議会運営委員会
- 2日 厚生委員会
- 3日 法律相談
- 5日 旧秋田書店跡地問題懇談
- 6日 小日台小で防災訓練、町会餅つき、後援会
- 7日 総務区民委員会傍聴、党演説会
- 8日 議員団会議、講談社前で宣伝
- 9日 議会最終日
- 10日 議会広報小委員会
- 11～13日 新婦人班で金沢・能登旅行
- 14日 中野ゼロホールで会議
- 16日 議員団会議
- 17日 江戸川橋で宣伝⑥
- 18日 江戸川橋駅3番宣伝
- 19日 元民商事務局長大村さん偲ぶ会
- 20日 地蔵通り朝市宣伝



江戸川橋駅 エレベーター 8月下旬運行へ



江戸川橋駅の地上までのエレベーター設置工事は、やや遅れています。12月10日、現場工事事務所に問い合わせたところ、地下埋設物が予想外の所にあったことで、当初は初夏のころ完成予定でしたが、8月下旬完成に向け進めているとのこと。

学校体育館に冷暖房完備

イメージ写真です



築年数を経た区立小中学校体育館は冷暖房設備がなく、夏は蒸し風呂状態、冬は厳しい寒さで、PTAなどから冷暖房を望む声が毎年区に出され、私たち区議団も要求してきました。17小学校、7中学校体育館と4中学校格技室に大型の設置型冷暖房機が整備されます。

快適トイレに改修へ

建築後30年を超える小中学校の“快適化”工事で、三中・関口台町小・金富小は17年度に全トイレの洋式ドライ化、床・天井などの内装工事も行います。PTAや学校から毎年要望が出され、また子どもたちから託された「臭いトイレを何とかしてほしい」との切実な声を議会



で繰り返し要求してきたことがようやく実現します。



板倉区議、山添拓参院東京（弁護士）小竹都議

日本共産党文京区議団ニュース

第92号

2016年
新春号

☎5803-1317

ホームページ: <http://www.jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp/>Eメール: mail@jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp

区政へのご意見・ご要望をお寄せ下さい。



戦没野球選手「鎮魂の碑」の前で、山添拓氏（東京参議院）と小竹都議を囲む日本共産党文京区議団



安全保障関連法の廃止を求める

請願採択

文京平和委員会提出の「安全保障関連法の廃止を求める請願」が共産、未来、市民の賛成多数で採択されました（自民・公明は反対）。6月議会での立憲主義破壊、憲法違反の「廃案を求める」請願採択に次ぐものです。また、新日本

婦人の会文京支部提出の「区立保育園増設への国庫負担増額を国に求める請願」も採択され、ともに文京区議会議長名で国へ要望書が提出されました。

昨年の区議選で日本共産党が7名に躍進したことで区議会に変化が生まれ、区民要求実現へと動き始めています。

区民の声が生きる新しい政治に！
基金616億は区民のために
区長に2016年度予算要望＝来年度予算にさっそく反映！
学校改修8校、全体育館にエアコン設置

2016年度の予算編成にむけて重点施策が公表され、50億円計上された学校快適性向上事業は昨年の中・文林中・本郷台中に続き、来年度は、築30年を経過している指ヶ谷小・林町小・青柳小・大塚小・根津小・駕籠町小・八中・十中の8校の改修計画が示されました。

また、冷暖房機未設置の小学校17校・中学校7校の体育館と4中学校の格技室にエアコン設置が決まり、これで全校設置となります。

さらに、福祉センター前の巻石通りのバリアフリー化、不足している特養ホーム職員への家賃補助、避難行動要支援者に地震ブレイカー配付、また災害時に生活情報を区民に発信するため、臨時災害放送局（FM）を開局するなどが盛り込まれました。

いずれも、区民の要求運動と結んで日本共産党区議団が長年、議会で要望してきたことが実現したもので、区民の皆さんからも喜ばれています。



区長に予算要望する日本共産党区議団（10.28）

都バス大塚車庫跡地 特養ホームなど有効活用を！

都バス大塚車庫跡地は7,246㎡もあり、ここにかかる市街地再開発計画の網をはずせば、幅広い区民のために活用できます。

党区議団は、501人（10月発表）の特養ホーム待機者をゼロにするための施設増設をはじめ、高齢者や子ども、区民が利活用できる計画を全庁挙げて策定し、都に強く働きかけるよう求めています。



車庫跡を視察する党区議団

育成室・幼稚園保育料 連続値上げ！
許せぬ

今年度月額7千円になった育成室保育料が3年後は1万円、幼稚園は9千円が1万3千円に値上げです。3年前のそれぞれ4千円、6千円と比べ何と2倍以上！この値上げ条例が、未来・自民・公明党の賛成で可決されました。共産党と市民の会は反対しました。

保育にかかる人件費や維持管理費を「受益者負担」とする区の考え方では、保育の質向上が保護者の負担増になります。区のニーズ調査では経済的援助を求める声が上位です。子育て支援というなら負担軽減こそすべきです。

介護保険から外された
要支援サービスどうなる!?

安倍内閣が強行した医療・介護総合法のもとで介護制度が次々と改悪されています。区が今年十月に実施する「介護予防・日常生活支援事業（新総合事業）」はまさにその一例です。要支援1・2の八割が利用する訪問・通所サービスを介護保険から外し、二〇二五年には八十年には八百万円も介護給付費を削る狙いで、区に代替

させるものです。

実施にあたり一度は介護認定を受けてもらうが、その後は、訪問介護を受けている人へのサービス卒業強要や、基本チェックリスト活用で安いサービスへの置き換え、要介護認定を受けさせない水際作戦が懸念されます。また、区の緩和サービス利用者の重症化が早まる心配があります。高齢者に介護サービスの利用制限と負担増を強い、公的社会保障を土台から掘り崩す区の提案は根本から見直すべきです。

増築↓改築へ
柳町小学校 検討決まる

柳町小の児童増による増築計画は凍結となり、全面改築で検討が始まります。当初「やなぎの森」に増築校舎を建て、植栽をなくす計画でした。日本共産党は、「森」を残せるよう、増築でなく築50年を超え老朽化した校舎の改築を決断するよう一貫して主張してきました。

この間、増築方針には「増築再検討の要望」「校庭面積確保」「増築推進」の請願が次々出され、関係者間でも足並みが乱れることに。問題解決のため十一月、全会派の幹事長が「全面改築」の検討を求める要望書を区長に提出。一月に地域の全町会代表を含む「教室対策等協議会」で経緯を検証の上、「改築構想検討委員会」で全面改築に向けて検討することになりました。

区政情報

不安を抱えるマイナンバー

1月からスタートするマイナンバー制度、昨年12月時点で、11,000世帯の「通知番号」が返戻。区は「番号の記載がないことを理由に申請を受理しないことはない」と議会で答弁しました。健診や預金にも利用拡大し、情報漏えいや詐欺も心配、莫大な経費もかかるマイナンバー制度は中止しても何も問題ありません。

利益あげる指定管理者

区内6体育施設の管理運営を行っている東京ドーム（昨年度からミズノも共同）が、1年間で約4200万円、指定を受けてから6年間で1億7000万円以上の収益があったことが総務区民委員会で判明しました。設備投資は必要なし、人件費も抑え、区の事業の他に「自主事業」で収益をあげられます。制度そのものの検証と、直営に戻すことを求めました。

ビックリ
税金投入！
ふくれあがった春日・後楽園
駅前再開発

地上40階の超高層ビル建設含む再開発事業の助成金が更に100億円追加され総額265億円になる見通しです。昨年6月に総事業費は750億円から1100億円になると報告されましたが、区の補助金の追加投入は明らかにしませんでした。

今年度末の着工にむけ、いま解体・アスベスト除去工事の準備が始まる中、小石川一丁目のこの地域で生活し営業していた「権利者」のうち22%（130人程度）がすでに転出したといわれています。莫大な税金投入に見合う計画なのか、区の説明責任が問われます。